

協会ニュース

令和 4 年 11 月 01 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和 4 年度 第 2 回シンポジウム「モノづくりマネジメント 技術革新」

- ◆ 開催日時 : 令和 4 年 10 月 20 日 (木) 13:20 ~ 17:00
- ◆ 場 所 : ウェブ配信セミナー (ウェビナー) 方式
- ◆ 参加者 : 31 企業・団体 173 名

お客様の要求にこたえるためには技術力の蓄積が重要であり、ベース技術を磨き、積み重ねる活動を愚直に実施継続することが肝要と考えます。

そこで今回のシンポジウムは、「オンリーワン/競争力強化」をキーワードに、3 名をお招きして当協会会員である日本規格協会様のご協力により Web 配信で開催しました。

講演第 1 部では、株式会社サタケの 江盛 貴之 氏 より「サタケが追求するオンリーワンとこれからの取組みについて」と題して、創業以来、常に技術革新を怠ることなく、市場が求める画期的な製品や新技術をタイムリーに投入し、斯界では“オンリーワン企業”として確固たる地位を築き上げられた取組みについてご紹介頂き、非常に興味深い講演でした。

講演第 2 部では、広島県 商工労働局の 出射 太 氏 より「広島県のものづくり産業支援の取組について」、そして株式会社熊平製作所の 久留原 拓司 氏 より「ものづくり価値創出支援補助金を活用して開発した製品のご紹介」と題してご講演いただきました。新型コロナの影響による社会構造の変化や 100 年に 1 度と言われる自動車産業の大変革期を迎え、今後も広島県が持続的な発展を遂げていくため、またものづくり企業にとってはたいへん厳しい経営環境の中で「ものづくり価値創出支援補助金」の制度のご説明とそれを有効活用された事例を紹介いただき、たいへん参考になる講演でした。

ご講演後は、中国地区品質経営協会 児玉 照三 副運営委員長 をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われ、事前に会員企業・団体様から寄せられた多くの質問を基に、ディスカッションしました。その中では、実際の取組みの中で苦労した事や、具体的な事例に対する質問など、シンポジウムに参加された方のテーマに対する高い関心度が伝わるものとなりました。

シンポジウムの開催終了後に皆様より頂いたアンケートでは、「会社の技術もどんどん深化 (より深く) させて新事業への取組み挑戦が素晴らしいと感じた。」「広島県の補助金制度は意外と幅広いことが理解でき、弊社も新たな市場環境に則したニーズに応じた取組みに寄与できる様に頑張りたいと思った。」などの感想が寄せられました。

また、参加動機に講演テーマを理由にあげられたご回答も多く、シンポジウムに対する満足度の高さからも、ご参加頂きました皆様にとって、非常に有意義なシンポジウムになったものと思います。



株式会社サタケ
江盛 貴之 氏



広島県 商工労働局
出射 太 氏



株式会社熊平製作所
久留原 拓司 氏



コーディネーター
副運営委員長 児玉 照三



オンラインによるパネルディス
カッションの様子